

＜株式会社エフエム東京 第337回放送番組審議会＞

1. 開催年月日：平成19年2月6日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社10階大会議室
3. 委員の出席：委員総数7名（社外7名 社内0名）
◇出席委員（6名）
子安美知子 委員長 青池慎一 副委員長
内木文英 委員 横森美奈子 委員
内館牧子 委員 渡辺貞夫 委員
◇欠席委員（1名）
香山リカ 委員

4. 議題

（1）最近の活動について

（2）番組試聴：「Evening File」

2006年12月11日（月）～14日（木）18:00～18:30放送分
(ダイジェスト版) <試聴時間：約22分>

《議事内容》

議題1：最近の活動について

◎ 12月レイティングで単独首位を獲得

12月の聴取率調査（レイティング）では、X'masキャンペーンとしてチャリティ・マーケットを実施、社員・出演者・アーティスト・リスナーから自宅に眠っていて使わないものを無償提供してもらい、それを1コイン（500円）の募金で受け取れるというもので、その収益で都内の小学校にもみの木を「育てるツリー」として贈り植樹をするキャンペーンを局全体で行いました。

また、各ワイドでは、エンターテインメントを扱うゾーンではこの年話題になったアーティストを徹底ブッキングするなど、通常の番組内容を象徴する企画を投入しました。

その結果、メインターゲットである M1F1 (20~34歳男女) 層が10月に引き続きアップし、2005年2月以来となるNo.1を奪還しました。

特にこのところ不振であったM1 (20~34歳男性) 層において、リーチ、平均聴取分数とも大幅にアップし、F1 (20~34歳女性) 層においても聴取分数がアップしたことから、従来より目指してきた継続聴取の強化がここに結実いたしました。M1F1 の在京5局中シェアでは27.6%、特にF1層では33.3%と1/3を占め、リーチはM1F1共に前回に続きNo.1を獲得しました。

なお、この他の結果概要は以下の通りです。

< TOKYO FM が No.1 の層 >

○全日平均（月一日 6:00-24:00）

【20~34歳男女】【15~34歳男女】【15~24歳女性】【20代女性】【10代女性】
【学生男女】

○平日デイタイム（月一金 9:00~18:00）

【20~34歳男女】【15~34歳男女】【20代女性】【10代女性】

○土曜デイタイム（土 9:00~18:00）

【20~34歳男女】【12~39歳男女】【15~34歳男女】【15~24歳女性】
【20代男女】【30代男性】【10代女性】

○日曜デイタイム（月一金 9:00~18:00）

【20~34歳女性】

◎ 「編成改革プロジェクト」の発足

現状の編成を抜本的に改革し、TOKYO FM の将来を見据えた新しい編成のあり方を構築すべく、12月29日に「編成改革プロジェクト」を組織し、黒坂執行役員編成制作局長をリーダーに、全社から16名のメンバーを任命、現在改革案を討議しています。

プロジェクトでは、日本で一番人気がある、信頼を集め、影響力の大きいナンバーワンステーションを目指し維持していくため、議論を重ねています。

プロジェクトでは、「聖域なき改革」として2月中旬には答申をまとめ、4月改編、続いて10月改編、そして来年の4月改編というステップで、改革案を実現させるべく取り組んで参ります。

◎ 「SCHOOL OF LOCK！」から、ロッテとのコラボレート商品「TOPPA」と
番組公式ブック「SCHOOL OF LOCK! DAYS」が発売

「SCHOOL OF LOCK！」では、ロッテの人気チョコレート菓子「Toppo」とコラボレートした商品「TOPPA」を、1月2日より、全国で期間限定発売しました。受験シーズンに、生徒たち（リスナーたち）の“勇気のお守り”となる商品を発売し、人生における難関の“突破”を応援しようというスペシャル企画です。

また、1月27日には、TOKYO FM出版から、番組初の公式ブック「SCHOOL OF LOCK! DAYS」を全国発売しました。一昨年10月の放送開始から昨年の1周年にいたるまでの間に放送された、「不登校」「恋愛」「ニート」「いじめ」「夢」についての放送の際のリスナーとのやり取りや掲示板への書き込み、講師として出演しているアーティストや若手女優たちの撮りおろし写真やメッセージなどが掲載されています。現在、早くも3刷りの製作が決定、総計2万3千部を既に発行しております。

◎ 「NISSAN あ、安部礼司～beyond the average～」が漫画化

30代の平均的サラリーマン「安部礼司」を主人公にしたサラリーマンコメディ・ラジオドラマ「NISSAN あ、安部礼司～beyond the average～」（毎週日曜 17:00～ 17:55 TOKYO FM他全国37局ネット）が、人気漫画家・しりあがり寿氏により漫画化されました。国内初の無料週刊マンガ誌として注目される「コミック・ガンボ」（2007年1月16日創刊）にて連載がスタートしたので、掲載開始となった創刊第2号では表紙を飾りました。

本番組は、ソーシャルネットワーキングサイト「mixi」に複数のコミュニティが発足し、その登録者数が計3000人以上にのぼるなど、クチコミによる人気がじわじわと上昇しています。

◎ 「ジェットストリーム」、テレビ朝日「報道ステーション」で特集

今年7月に放送開始から40周年を迎える長寿番組「ジェットストリーム」が、1月25日（木）21時54分から放送のテレビ朝日「報道ステーション」で、約15分にわたり特集されました。

「団塊世代に贈る⑤～ジェットストリームと深夜放送の時代」と題された、団塊世代をターゲットにしたシリーズの第5回目としてテレビ朝日側から企画提案されたもので、「ジェットストリーム」をライフワークとして取り組んだ城達也氏やスタッフのエピソードをはじめ、当時の音源、TOKYO FM後藤会長の当時を語るインタビューなどが紹介されました。当日の放送は、通常の放送以上の高視聴率を獲得したことです。

議題2：番組試聴

【番組名】「Evening File」

【放送日時】2006年12月11日（月）～14日（木）

18:00～18:30 放送分（ダイジェスト版）

【番組概要】

日々起こるニュースについて、その背景にまで踏み込んで伝えていくことを目的としたウィークデータ方のニュースベルト番組「イブニング・ファイル」。

昨年12月11日（月）～14日（木）は、「2006年親子の風景」と題し、連日その親子関係に注目の集まった著名人ゲストを迎え、親子の絆を探りました。

昨今、親子の関係の歪みから端を発した社会問題が多い中で、親と子の心のつながりの大切さを伝えました。

● 12月11日～14日の特集 「2006年の親子の風景」

<ゲストとトーク内容>

月) 雛形あきこ(女優)

女優業で活躍する一方で、6歳の子供を育てるシングルマザーとしての彼女が語る親子関係。

火) 角田光代(直木賞作家)

「小説が100だとしたら、自分を反映しているのは2%」と語る彼女が小説に描いた、2年前に亡くなった母との本当の出来事についての逸話を語る。

水) 王理恵(ソフトバンク・ホークス 王監督長女)

父・王貞治氏との闘病生活を通じて改めて感じた大切なこと…食卓を囲む家族の大切さと、娘から見た父への想いを語る。

木) 河野太郎(衆議院議員。衆議院議長 河野洋平氏長男)

肝臓移植を嫌がった父・洋平氏に対し、自らドナーとなり、元気になった父は「中古の肝臓をよこしやがった」と周りに話すという、オヤジが絶対！という家庭環境での厳格な中にも尊敬と信頼でつながる父との関係を語る。

本日はこのうち王理恵さん、河野太郎さんの回をダイジェストでご試聴下さい。

<試聴時間：約22分>

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- 小山さんの出来にかかっている番組。落ち着いたいい声をしていて、とてもいいと思う。ただ、もっとよくなるはずの部分があった。
王さんの話は前半がありきたりだが、終盤に「家族にとって“食べること”ってとても大事なことなんですね」「父が娘でよかったですと初めて言ってくれた」という、いいコメントがあった。これに対し小山さんは、もっとつっこまなければならない。「共働きで忙しいなかでも、できることってあるはずなんですよ」というところも、もっとつっこんで欲しかった。
河野さんは放っておいても話が面白い人だが、河野さんの面白さをどこまで活かしているかにも疑問を感じた。「家族の風景」というと、普段は怖い父が一人でポツンとテレビを見ていた姿がなぜか思い出される」というコメ

ントにも、的外れな答えを返していた。

- 意義深い番組として聴かせて頂いた。思わず聴き入ってしまった。
例えば王さんが「娘であることをそんなに引け目に思っていたのか」など、他の人には伺えない思いがあったりするので、そういうものが知れてとてもよかったです。いろんな親子関係があるものだな、と考えさせられた。
- 週ごとに違うテーマを設定するのか？
■ この時のように、週で統一のテーマを設定するときもあるが、普段は個々のゲストに対してテーマを考えることも多い。
- この時はなぜこのテーマにしたのか？
■ いじめや自殺が多発していた時期で、改めて家族のあり方を考える必要があると思った。
- 他の週ではどういうテーマを扱っているのか？
■ 今回のようなこころの問題から、例えばイラク問題について様々な方からお話を伺ったりなどの国際問題に至るまで、その時に話題になっている社会問題をテーマとして取り上げている。
- とてもいい番組だと思った。娘だから、息子だからこそ話せることを、聞き出せたことに意義がある。ラジオのもつてある親近感、人間的な部分がじわじわ伝わってきて、そこが素晴らしいと思った。
- 番組としてはいいと思うが、ナレーションのところのBGMの使い方がお粗末で気になった。対談の後の選曲もちょっと安易。王さんの回の最初の方は時間がもったいない。インタビュアーの力不足を感じた。
- 王さんの回は全く面白くなかった。河野さんの回も面白くなるかと思ったが、そこまででもなかった。彼らはやはり大人物の娘・息子という点で、特別な家庭だからと感じて終わってしまうところがある。特別な家庭の中にも、普通の家庭のリスナーが共感できる部分があつたりしないと、意味がないと思う。もっと聴いている人たちにとってリアルに思えるようなエ

ピソードがあればと思う。

- 私は、王さんの言葉にもハッとさせられてしまった。「そういえば最近は自分の家庭も夕食時に全員はそろっていないなあ」など、自分のことを振り返って考えさせられた。河野さんの話からも、このようにダイナミックでめりはりのある家族関係が最近は少なくなったと思わされた。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送：番組「Heart Sharing」
2月25日（日） 6:00～8:30放送
- ② 書面：TOKYO FMサービスセンターに据え置き
- ③ インターネット：TOKYO FMホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会は3月6日（火）に開催することを決めた。

以上